



資産価値を守るために行う メンテナンスリフォーム

10年
ごと

お客様の住まいの資産価値を維持する為には、メンテナンスリフォームが重要です。住まいが劣化する原因に壁の内側の結露や外壁・屋根・バルコニーからの「水」の侵入が大きな要因となっています。新築10年目には外壁・屋根・バルコニーの防水工事など行えば、住まいの劣化を防ぎ、瑕疵担保責任保険の「延長瑕疵保険」も10年間延長されます。家守りの専門家ネットワークでは、全国対応できる施工グループと提携しております。

屋根

汚れや塗装のはがれ、屋根材の劣化が起きている屋根は、メンテナンスしないしていると、そこから雨水が侵入し中の木材が腐ります。



屋根に付着した苔などを高圧水で丁寧に洗浄していきます。



下塗：下地を強化。遮熱性能のある下塗りもあります。



上塗：色を付け屋根を綺麗にし保護します。夏の暑さや冬の寒さにも効果がある遮熱断熱塗料などもあります。

外壁

外壁のつなぎ目(目地)に注入されているシーリング(ゴム状の物質)の劣化で、ひびや裂け目から雨水が侵入し建物の構造にダメージをあたえます。腐食した木材はシロアリが好む環境です。



シーリング(コーキング)が経年によって劣化し、痩せて裂け目が入ってきています。



劣化したシーリング材を撤去します。



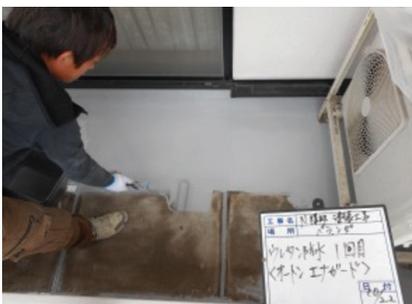
新しいシーリング材を打ち込みます。

バルコニーの防水

バルコニーの防水がしっかりできていないと、そこから建物の中に雨水が入り込み、木材を腐らせてしまいます。最悪ベランダが崩れる事もあります。



クラック防止と見栄えを良くする為目地部分にシーリングを充填していきます。



ウレタン防水の1層目を塗布していきます。



ウレタン防水(オートンエナガード)のトップコートを塗布していきます。